

横浜開港資料館 平成 29 年度第 3 回企画展示

開港場横浜の原風景 —350 年の歴史を探る—



開港場と横浜道を描いた絵図

安政 6 年(1859) 貞秀 当館所蔵

1.展示会期など

会 期 : 平成 29 年 10 月 25 日(水)～平成 30 年 1 月 28 日(日)

会 場 : 横浜開港資料館 新館 企画展示室

開館時間 : 9:30～17:00(入館は 16:30 まで)

11 月 24 日(金)、1 月 26 日(金)は、展示室のみ 19:00 まで開館(入館は 18:30 まで)

入 館 料 : 一般 200 円、小中学生 100 円

休 館 日 : 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、12 月 28 日～1 月 3 日

主 催 : 横浜開港資料館

共 催 : 横浜市教育委員会

後 援 : 朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、
毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk

2. 展示趣旨

安政 6 年(1859)、開港場・横浜が開設され、近代都市横浜の歴史が始まります。あわせて開港場と当時の主要幹線であった東海道を結ぶ横浜道も開通します。横浜道は、開港以前、東海道の宿場であるとともに神奈川湊の所在地として地域の中心地であった神奈川宿と開港場を直結させ、さらに東海道を経て江戸へとつながります。こうした開港場と横浜道の成立によって、市役所や県庁が存在する関内から海沿いに横浜駅へと連なる現在の市域中心部の原型が形成されました。

開港場と横浜道の建設にあたっては、江戸時代を通じて進められてきた新田開発の進展が大きな要因となっています。開港場の背後にあった大岡川河口の入海は寛文 7 年(1667)完成の吉田新田を始めとする新田開発によって陸地化されており、帷子川沖合の海上に設定された横浜道のルートも 18 世紀半ば以降に開発された新田の先端部をつなぐように設定されています。

本展示では、こうした開港以前における市域中心部の様相を紹介するとともに、それが開港場設置に与えた影響を考えます。

3. 展示構成

1. 近代都市横浜の原点－横浜村と吉田新田
2. 横浜道が通る場所－帷子川河口部の新田開発
3. 神奈川湊とその地域圏－神奈川宿・芝生村・保土ヶ谷宿
4. 横浜開港とその後の変化

4. おもな展示資料 （全展示数 約 120 点）

- ① 安政 6 年(1859) 貞秀 神奈川港御貿易場御開地御役屋敷井町々寺院社地二至ル迄明細大絵図にあらわす 当館所蔵



安政 6 年(1859)の横浜開港によって建設された開港場と横浜道を描く絵図。2本の突堤がある中央部が開港場。右下の東海道より分岐して開港場にいたる道が横浜道である。

② 安政 6 年（1859）神奈川表横浜御開港之正景 当館所蔵



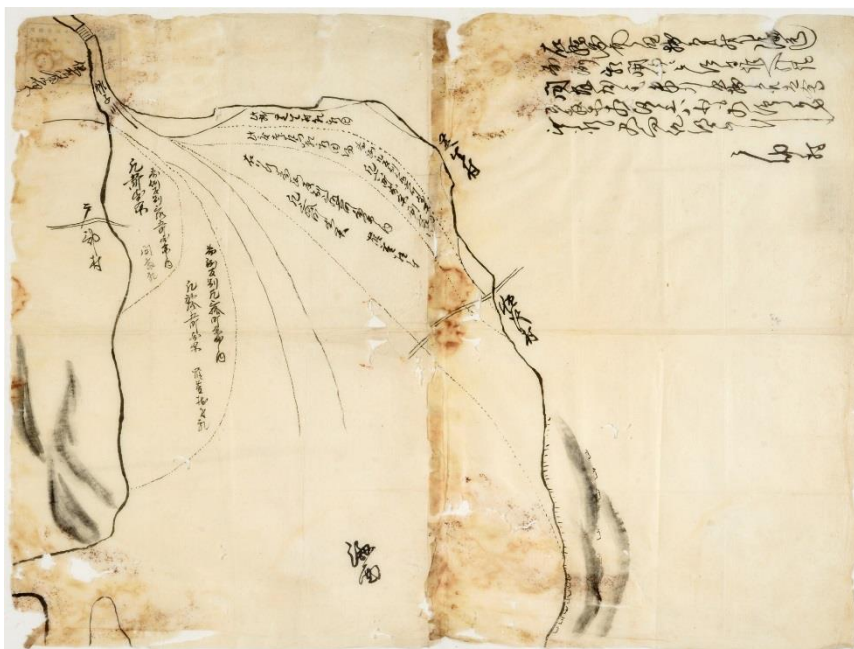
開港場横浜と横浜道を描く絵図。開港場の上部に見える吉田新田・横浜新田・大田屋新田はかつて入海であった。また、横浜道の内、東海道より戸部にいたる範囲もかつては帷子川河口の入江であった。

③ 吉田新田開発前図 吉田興産株式会社所蔵



寛文 7 年(1667)に完成した吉田新田が開発以前における大岡川河口部に広がる入海の状況を示す絵図。左下から右へと横に伸びる砂浜が「横浜」の由来である。

④ 帷子川河口新田絵図 軽部紘一氏所蔵



宝暦12年(1762)に行われた池上太郎左衛門幸豊の東京湾西岸の新田開発計画に際して、戸部村より提出された絵図の写し。左上の橋は東海道が帷子川を渡る帷子橋で、おおむね現在の相鉄線天王町駅に当たる。河口部の入江は、土砂が堆積し新田開発の適地となっている。

5. 展示関連事業

●展示担当者による解説講座

第1回 11月5日(日)「近代都市横浜の原点－横浜村と吉田新田－」

第2回 12月9日(土)「横浜道が通る場所－帷子川河口部の新田開発－」

第3回 1月13日(土)「神奈川湊とその地域圏」

〔時間〕 14:00～15:00(各回)

〔会場〕 当館講堂

〔受講料〕 1回につき200円

〔定員〕 当日先着80名 当日13:30から会場にて受付開始

●展示担当者による展示案内

第1回 11月24日(金)18:00～

第2回 12月23日(土)14:00～

第3回 1月26日(金)18:00～

各回30分程度を予定しております。

入館券をお持ちのうえ、新館2階企画展示室入口にお集まりください。

●展示図録『開港場横浜の原風景』の販売

A4判、16頁、400円(予価・本体価格)

お問合せ先			
横浜開港資料館	展示担当	齊藤 司	TEL 045-201-2149
	副館長	西川 武臣	TEL 045-201-2100

* 画像データをご要望の場合は右へ、ご連絡ください。横浜開港資料館 田中(広報) TEL: 045-201-2100